

高崎観光協会 会報

# 縁起のいいまち 高崎

夏号

Summer

VOL.147

2019

きらめく満天の星





# Planetarium

## きらめく満天の星

—まちなかと倉渕で楽しむ—

高崎市少年科学館プラネタリウム 経由くらぶちこども天文台

灼熱の太陽が支配していた空に夜のとばりが下りると、夏の星たちによる天文ショーが始まる。過ごしやすい夏の夜は、星に親しむ絶好の機会。

「高崎市少年科学館プラネタリウム」を訪ねて21mドームに投影される星座や番組。天体望遠鏡を使って天体を観望する月に一度の「天文教室」などを通して、星への興味を広げてみよう。

ちょっと足を延ばすなら倉渕地域がおススメ。天気のいい日には、天の川をはじめ満天の星を肉眼で見上げる感動を味わえる。さらに「くらぶちこども天文台」では、天体望遠鏡を使って市街地ではとらえにくい“星雲”の姿もリアルに楽しめる。



### ■高崎市少年科学館プラネタリウム

高崎市末広町 23-1 TEL.027-321-0323

投影時間：火～金(※) / 14:00～・15:30～ 土日・祝日 / 11:00～・13:30～・14:45～・16:00～

休館日：月曜(祝日の場合は翌平日)・年末年始

※夏休み期間は毎日開館、平日も土日等と同じ投影時間に変更

観覧料：一般 310円 小・中学生以下、65歳以上など 無料

天文教室：毎月1回 おもに金曜日の夜に開催

### ■くらぶちこども天文台

高崎市倉渕町水沼 2930番

(関越自動車道 高崎IC. から約55分)

問い合わせ・連絡先：相間川温泉株式会社内

TEL.027-386-6837 (天文台担当)

天体観望会：毎週水～日曜日

19:30～22:00 (7・8月) 19:00～21:30 (9月)

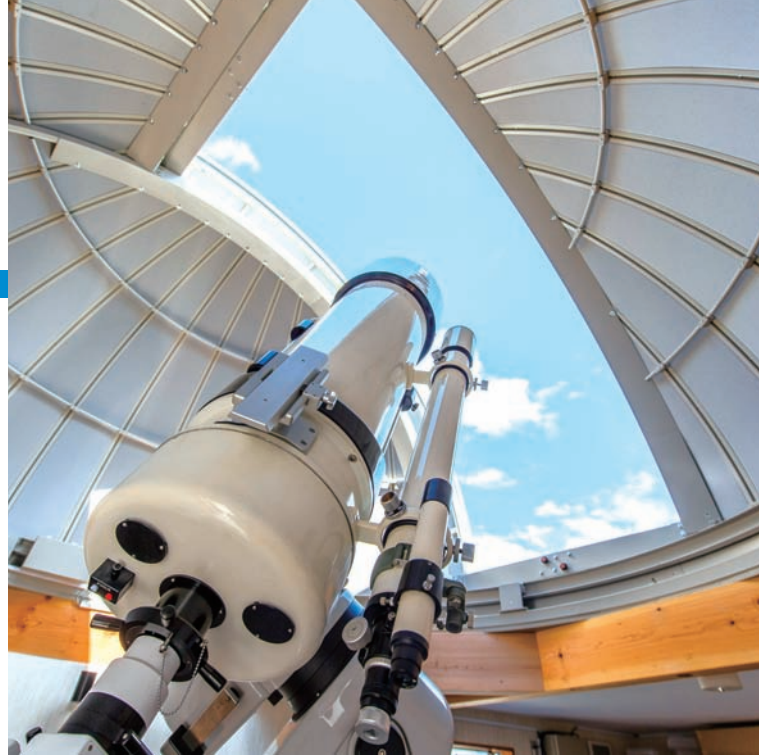
最終受付：終了30分前

※星空の見えない、曇りや雨天時には中止

当日の開催情報等、詳細については専用ページ参照







### 大人こそ楽しめる星空ロマン

場内の照明が消えると、高崎の夜空が360度の大きなドームスクリーンに映し出される。数えきれないほどの星々に、宇宙に放り込まれたような感覚に包まれる。幻想的な異空間の中に意識が吸い込まれていく。ここは、末広町交差点側の高崎市少年科学館。大きな銀色のドームがプラネタリウムの存在を伝えている。都市の中で宇宙を満喫できる唯一の空間は、子ども向けの施設と思われがちだが、実は大人にこそ楽しんでほしい場所といえる。

このプラネタリウムをあなどってはいけない。21mのドーム径・315席と国内でも大型で、開館当時は国内トップクラスの設備。1万2千もの星が映し出される。ゆったりとしたシートで眺める星空は、極上のヒーリング空間となっている。

### 高崎発のオリジナル番組

ここで投影されている番組は子ども向けに限らず、大人にとっても興味が膨らむ内容になっている。同館ではオリジナル番組の企画・制作へのこだわりも強く、「タイムリー・サイエンス・ファンタジー、時にはUFOや、星占いをテーマにしたものもあります。ダイナミックな映像、緻密な脚本。星や宇宙について、単純に解説する番組ではありません」という意気込みで、観覧客を楽しませている。

また、気分がふさがりがちな梅雨の頃に、アロマの香りと一緒に星空を楽しむヒーリングプラネタリウムや、クリスマスの際には星空コンサートを行うなど、プラネタリウムならではの楽しみ方を提供している。夫婦で、カップルで、ロマンチックなひと時を過ごせそうだ。

### 復活した天体望遠鏡

年間を通して美しい星空が楽しめる場所として、天文ファンに親しまれてきた倉淵地域に、2019年(平成31)3月、「くらぶちこども天文台」がオープンした。

天文台に据え付けられている「三鷹光器製30cm反射式望遠鏡」は、かつて少年科学館に隣接する高崎市中央公民館屋上の天体ドームに設置されていたもの。少年科学館の天文教室では、この望遠鏡を通して多くの市民が天体を眺めてきた。2011年(平成23年)の東日本大震災による天体ドームの損傷と老朽化のために使用できない状態が続いていたが、「くらぶちこども天文台」での活用が決まると改修が施された。鏡筒部分のオーバーホールや、パソコン上で見たい天体をクリックすると、その天体を視野に入れるために、望遠鏡とドームが連動する自動導入装置が架台部分に付加された。さらに接眼部の位置を自由に調整できる「ワンダーアイ」を導入。8年ぶりの現場復帰となった。

昭和・平成から令和へと新たな時代に受け継がれ、倉淵から見上げる星空の魅力を伝えていく。







木星

※この夏の木星はアンタレスの近くに輝いている

アンタレス

アルタイル

土星

火星

(撮影：2018年)

# The Milky Way

## 倉渕で出会う七夕ロマンス

この夏、ぜひ一度足を運んでほしい「くらぶちこども天文台」。倉渕地域なら満天の星の中、空に白く輝く天の川を簡単に見つけることができる。夏の風物詩・七夕にちなんで、織姫と彦星の恋の物語を夜空になぞってロマンチックな気分になぞってみてはいかが。2019年の旧暦の七夕は8月7日。夏空が安定することが多く、織姫や彦星の高度も高くなっているので探しやすい。

### 織姫と彦星が見つかる「夏の大三角」

頭上近くの高い空を見上げると、白く輝く天の川の中に5つの星が十字架の形に並んでいるのが「はくちよう座」。明るい星が多く、見つけやすい夏の星座の代表格だ。

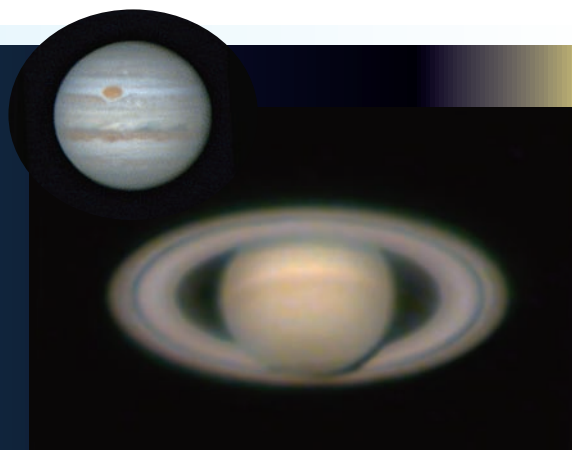
はくちよう座から天の川に沿って少し南に目を向けると、天の川をはさんで明るい1等星が2つ輝いているのが見える。

## Jupiter and Saturn

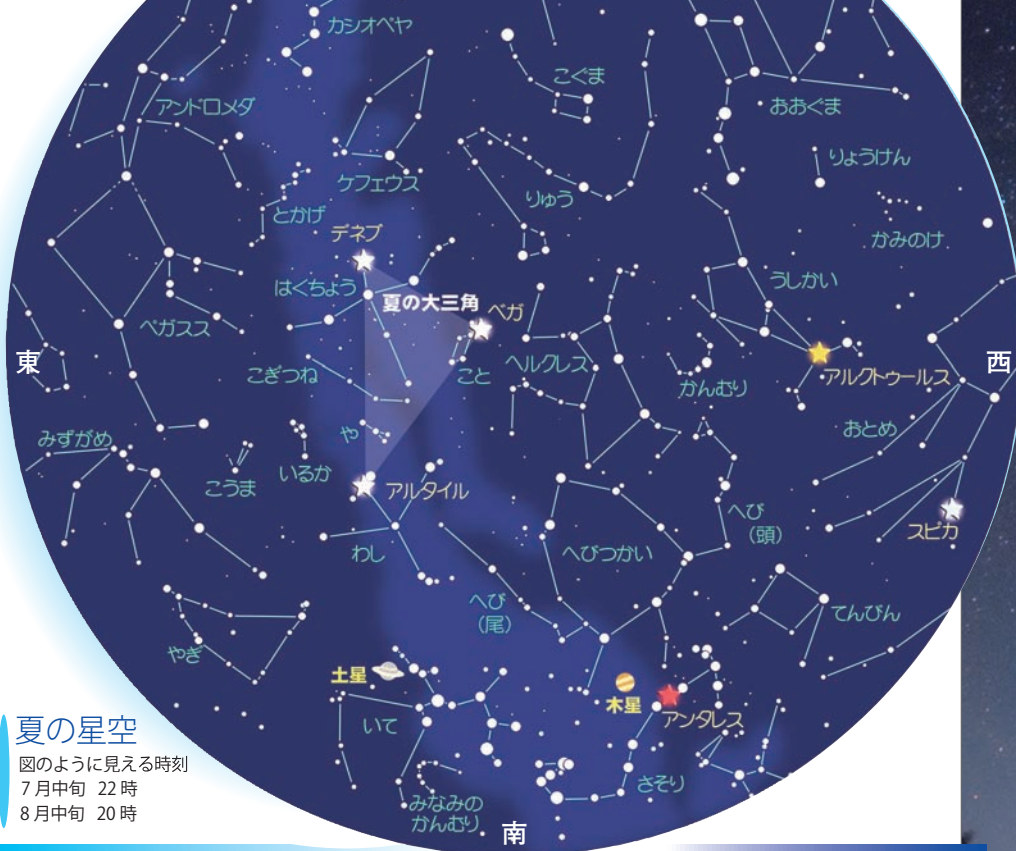
### ■木星と土星が観望の見ごろ

月のクレーターや木星の赤い渦、土星の環(わ)など、望遠鏡をのぞいて月や惑星の表面をリアルにとらえる天体観望。初心者にはかなり刺激的で、宇宙への興味が一気に広がる。木星は肉眼で見ても明るく存在感のある天体。6月中旬から8月下旬にかけて南の空、さそり座のアンタレスの近くでひととき強力に輝いている。望遠鏡で拡大すると、大赤斑と呼ばれる渦や縞模様が確認できる。

また、土星は天の川をはさんだいて座で、黄色みをおびて輝いている。ここ数年は、土星の特徴である環の面が地球に向く時期にあっている。







### 夏の星空

図のように見える時刻  
7月中旬 22時  
8月中旬 20時



デネブ

## The Scorpion



アンタレス

## M8: The Lagoon Nebula



### 夏の星雲の代表格。 美しい『いて座の散光星雲』

星雲は、星空にある小さな雲のように見える天体で、宇宙空間のガスやチリが濃くまとまった部分のことをいう。「散光星雲」とは、光って見える星雲のこと。いて座付近の天の川には、赤い色をした星雲が点在している。写真の「M8（干潟星雲）」は、肉眼でもぼんやりと光る姿を確認できる。現在も新しい星が生まれている領域と考えられる。

西側の星が「こと座」の1等星「ベガ」で、これが織姫。東側の星が「わし座」の1等星「アルタイル」で彦星。この2つの星と「はくちよう座」の1等星「デネブ」を結んでできる三角形を「夏の三大角」と呼び、夏の星座を探す目印となっている。

### 赤く輝くさそり座の心臓

夏の星座でもう一つの見どころといえば、「さそり座」。南の空の低いところに見えるので、見晴らしのよい場所で探してみよう。形が大きなS字型なのでわかりやすい。さそり座の目印は、あやしく光る赤い星。さそりの心臓にあたる1等星「アンタレス」。火星と接近して見える場合があり「火星に対抗するもの、という意味を持つ。直径が太陽のおよそ700倍もある赤色超巨星と呼ばれる星で、星の一生の最終段階にあるといわれている。

## Surface of the Moon

### アポロ11号の月面着陸より半世紀

1969年(昭和44)7月、アメリカのアポロ11号が初の月面着陸に成功した。それから50年。節目の年を迎えたこの夏は、月の話題が再沸騰すること間違いなし。月面をおおう無数のクレーターは宇宙の神秘をかき立てる。重力が弱い月面はほぼ真空状態で、そのうえ地殻変動もあまりないため、数10億年前に隕石がぶつかった跡もそのまま残っている。





# 北関東最大級！ 迫力満点の花火大会 保有台数日本一の江戸型山車の共演



## 第45回 高崎まつり

8月3日(土)・4日(日)  
高崎駅周辺～もてなし広場周辺

## 第17回 高崎山車まつり

8月3日(土)・4日(日)  
高崎中心市街地～もてなし広場周辺

## 大花火大会

8月3日(土) 午後7時30分～8時20分  
烏川和田橋上流河川敷 ※悪天候の場合は翌日に順延

〈観覧エリア案内図〉



有料観覧エリア：一般 2,000円 高校生以下 1,000円  
有料観覧エリアのチケット販売：インターネット、電話、店頭等で  
事前販売、当日販売 200席

今回は暑さ対策のために開始時間を遅らせてのスタートとなる。

2日間。

お祭りのボルテージが最高潮に達する2日間。

70万超の人数でにぎわう関東でも有数の夏祭り。最大の目玉は、50分で1万5千発もの花火が夜空を彩る花火大会。スピーディーで迫力のある花火を最高の環境で楽しんでもらおうと、打ち上げ場所に近いエリアが今年も一般開放される。

また、江戸型山車の保有台数が日本一の高崎では、毎年輪番制で豪華絢爛の山車が登場し、まちなかを巡行する。高崎ならではのま神輿も登場し、勇壮な神輿のみみ合いは必見！ほかに木遣り、和太鼓、阿波踊り、盆踊り、高崎ちんどんなども沿道の人々を楽しませ、お祭りのボルテージが最高潮に達する2日間。

●HPやFacebook、Twitterも随時更新中。“高崎まつり”で検索  
●お問い合わせ：高崎まつり実行委員会事務局  
TEL.027-330-5333



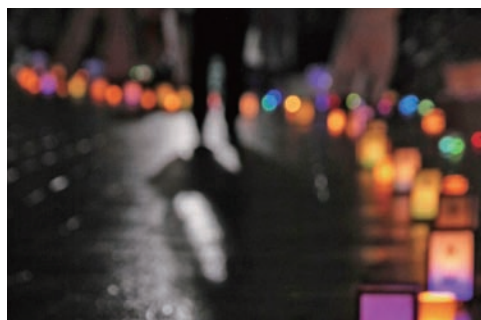
EVENT  
EVENT

# 1万を超える灯明が観音山を 幻想的に彩る

## 第23回 高崎観音山万灯会

8月24日(土)

観音山一帯で開催  
17時～21時30分  
(小雨決行、雨天中止)



※当日は混雑が予想されるので、高崎駅西口・市役所より臨時シャトルバス(有料)、また清水寺石段下より徒歩でお越しを。

中世の頃一世を風靡した大田楽、子供ちようちん行列、円光くぐり、フォトコンテスト、お楽しみがいっぱいの緑日広場と、内容盛りだくさんで楽しめる。

毎年8月第4土曜日の17時～21時30分、観音山では清水寺から参道商店街を経て白衣大観音へと続く境内や石段に、観音様にお供えする灯明が敷き詰められる。『高崎観音山万灯会』は仏様に滅罪生善や諸願成就を祈念する行事。高さ41・8m、重さ5985tという巨大な観音様が1万2000本ものロウソクや灯籠の明かりの中から浮かび上がるような幻想シーンに、祈りと感謝の気持ち呼び起こされる。

●お問い合わせ：高崎観音山万灯会実行委員会(慈眼院内) TEL.027-322-2269

高崎芸術劇場  
オープン記念

第30回 高崎音楽祭

上信越と北関東を代表する  
音楽と舞台芸術の殿堂『高崎芸術劇場』  
9月20日(金) オープン!

9月22日(日)～10月14日(祝)  
高崎芸術劇場

高崎芸術劇場は、1961年に建設された群馬音楽センターの歴史と精神を継承・進化させ、新しい高崎の都市文化を創造・発信する劇場として、JR高崎駅東口にオープンする。古今東西の音楽や舞台芸術の公演に対応した2,030席の「大劇場」、ロックコンサートや演劇・舞踊・能などの多様なパフォーマンスが可能な「スタジオシアター」。群馬県初の本格的な「音楽ホール」。リハーサルやレッスンのための9つのスタジオなど「鑑賞と創造」が一体化した複合的な芸術劇場になっている。



●美輪明宏の世界  
～愛の話とシャンソンと～

10月11日(金)

午後6時30分開演 大劇場  
出演：美輪明宏



▲美輪明宏

●el tempo directed by  
シッド・カフカ/サンティアゴ・バスケス

10月14日(祝)

2回公演 スタジオシアター  
出演：シッド・カフカ、金子ノブアキ、  
サンティアゴ・バスケスほか



▲シッド・カフカ



▲金子三勇士



▲小林研一郎

今年30回を迎える高崎音楽祭は、高崎芸術劇場のオープニングを飾る。  
加藤登紀子と森山良子、日本を代表する女性シンガーソングライターの初共演は、アンサンブル金沢専任指揮者の鈴木織衛を迎え、群響による演奏が豪華に花を添える。また、群響のミュージックアドバイザーに就任した「炎のコバケン」こと小林研一郎の指揮でマーラーの交響曲を演奏。ソリストには高崎市出身のピアニスト・金子三勇士を迎える。  
ほかに、観客の五感をステージにくぎ付けにする美輪明宏コンサート。女優、ミュージシャンとして活躍するシッド・カフカがプロデュースする人気ユニット「el tempo」など全17公演。新しい音楽ホールと共に、多彩でエキサイティングな数々のコンサートが堪能できる。

●加藤登紀子&森山良子シンフォニックコンサート  
with 群馬交響楽団

9月22日(日) 午後3時開演 大劇場

出演：加藤登紀子、森山良子、鈴木織衛(指揮)、群馬交響楽団



▲森山良子



▲加藤登紀子

●小林研一郎指揮 群馬交響楽団特別演奏会  
＜コバケンの巨人＞

9月28日(土) 午後3時開演 大劇場

出演：小林研一郎(指揮)、金子三勇士(ピアノ)、  
群馬交響楽団

曲目：モーツァルト『ピアノ協奏曲第20番』、  
マーラー『交響曲第1番<巨人>』

●お問い合わせ：高崎音楽祭事務局 TEL.027-322-9195 <http://www.takasakiongakusai.jp/>  
主催：高崎音楽祭委員会・高崎市 共催：高崎財団 後援：高崎商工会議所・ラジオ高崎・高崎観光協会



スープを2倍おいしくする奇跡のベーコン



●「えばらハーブ豚未来」の無塩せきベーコン

ハーブ飼料と完全無投薬にこだわった養豚を展開する尙江原養豚(高崎市上滝町)の、甘くてあっさりした脂の旨みと柔らかい肉質が際立つ「えばらハーブ豚未来」。その『ベーコン』も絶品。素材の良さはもちろん、生ハムやソーセージ作りに定評のある育風堂精肉店(みなかみ町)が加工を手がけたと聞けば、さらに納得!カリカリに焼いても美味しいが、甘くてあっさりした脂の旨みを堪能するなら、スープで楽しむのがおススメ。高崎じまんには、朝採れの野菜も店頭と並んでいる。体を冷やすことの多い夏、夏野菜たっぷりの温かいスープを召し上がれ。

高崎じまん

(高崎オーバ1F)

高崎市八島町46-1  
電話：027-381-6967  
営業時間：8:00～21:00  
休業日：なし

TAKASAKI ARENA

高崎アリーナ

7月・8月・9月の主なイベント



- アジアン ダンススポーツ ゲームズ 7/6(土)・7(日)〈観覧無料〉
- 一輪車全国大会 7/14(日)〈観覧無料〉
- 全日本新体操クラブ選手権 8/16(金)～18(日)〈観覧有料〉
- 全日本新体操クラブ団体選手権 8/29(木)～9/1(日)〈観覧有料〉

●お問い合わせ：高崎アリーナ TEL.027-329-5447

EVENT





ロケ地を訪ねて  
『泣くな赤鬼』編

どこまでも広がる空



© 2019「泣くな赤鬼」制作委員会

●10年後の再会

途切れた時間が動き出す

診察を受けた病院で、「赤鬼先生」と懐かしい愛称で呼び止め

られた高校教師の小淵隆（堤真一）。「俺のこと、覚えてる？」茶髪にピアス、柄シャツ姿でふんぞり返っている男は、かつての教え子・ゴルゴと斎藤智之（柳楽優弥）だった。隣にいる可愛らしい女性・雪乃（川栄季奈）を照れくさそうに「カミさん」と紹介し、今は幼い息子と3人で幸せな家庭を築いているという。

ゴルゴは、かつて小淵が城南工業高校野球部監督として甲子園を目指し、熱血指導を行っていた頃の野球部員だった。野球の才能は群を抜いていたが、こらえ性がなく練習に真剣に打ち込む精神に欠けていた。小淵はそんなゴルゴをなんとか鼓舞しようとするが、期待もむなしく野球部を去

り、高校も中退してしまった。

一方、小淵もゴルゴが去った後、甲子園出場がかかった決勝戦で敗北。定年が見えてきた今でも進学校の弱小野球部の監督を続けているが、赤鬼の形相で怒るようなことはなくなった。

再会の数日後、小淵はゴルゴが末期がんで余命半年であることを雪乃から知らされた。「トモくんは、先生に会えたことを喜んでる。ちゃんと仕事をして、結婚もして、すっかりがんばってるんだなって、初めて赤鬼にほめられたって」。小淵は自分が見限って切り捨てたかつての生徒を見舞う。彼らの時間が再び交じり合い動き出す。

●こだわりの野球シーン

兼重監督の故郷でもある群馬県でオールロケが行われた。野球部の練習や試合の風景では、高崎市内の高校や城南球場がロケ地となり、野球部員も高校球児ではなくOBの大学生などが協力し、リアリティのあるシーンとなった。

兼重監督が「北関東は空が広いところが売り。広い空と鉄塔は撮りたいと思っていました」と言うように、野球グラウンドから見上げる空は広く印象的。見る人の背中を押せるような作品

づくりにこだわり、「未来につながっていく話にしたかった」と、監督が想いを込めたシーンが随所にちりばめられている。

堤真一、柳楽優弥、川栄季奈。俳優陣の迫真の演技が見事な化学反応となって胸に迫ってくる。

●先生と生徒。だれにもある  
思い出の地を訪ねたくなる

お世話になった先生に無性に会いたくなる映画だ。教室の自分の席から見上げた先生は、ときに怒りや非難の対象だった。間違わない、間違っただけいけない人だと、身勝手な思春期の思い込みがあった。先生だって間違っことはあるだろうし、生徒の弱い部分から目をそらしてしまうこともあるだろう。厳しく叱るだけでなく、もっとやさしく褒めてやればよかった。そんな後悔を残すことも星の数かもしれない。不完全であっても、生徒と共に喜び、悩み、励ます。しっかりと寄り添ってくれる先生に救われる心は多いはずだ。

「母校」という思春期の思い出が詰まった「ロケ地」を訪ねてみてはいかがだろうか。

監督：兼重淳。原作：重松清の小説『せんせー』。所収「泣くな赤鬼」（新潮文庫刊）。脚本：上平清、兼重淳。出演：堤真一／柳楽優弥／川栄季奈ほか。